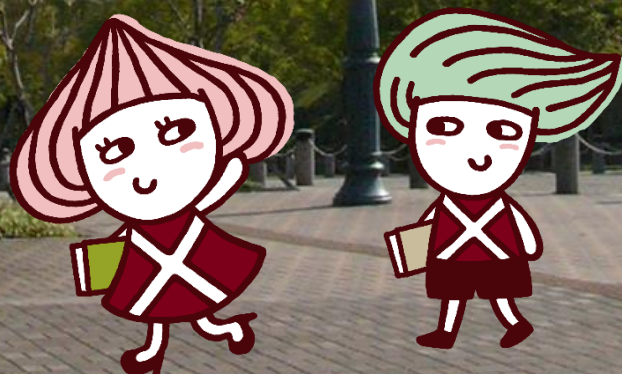


2017.10
桃山学院大学 全学FD推進委員会
FD NEWS Vol.11
Faculty Development

INDEX

- 2017年度春学期 授業改善のための
「学生による授業評価」アンケート実施報告
- 2017年度春学期開催全学FD研修会報告
- 「共通自由特別講義-リーダーシップ入門」紹介
- 2017年度全学FD推進委員会構成メンバー紹介



2017年度春学期 授業改善のための 「学生による授業評価」アンケート実施報告

本学における学生による授業評価の取り組みは、1996年度に文学部により「試行」されて以後、学部単位で徐々に拡大、実施されてきました。

2002年度秋学期を期に全学的に実施することになり、2013年度からは担当教員が学生の学習実態を把握し、授業の問題点を抽出して授業にフィードバックできるよう改訂を行いました。

● 実施の目的・趣旨

「学生による授業評価」の目的は、授業に対する学生の率直な意見を聞き、学生と教員が協力して「わかりやすく質の高い授業」を作りあげ、教育改革(カリキュラム改革)等を進めていくことにあります。さらに、学生の学習活動に対する自覚と向上を促し、担当教員においては学生の授業への取り組みの結果を受けて、より良い授業とするための検討材料を提供することを目指しています。

● 実施状況

実施期間 : 6月26日(月)～7月8日(土)

実施率 : 実施対象科目 696科目中 669科目実施
(実施率96.1%)

回答率 : 50.7% (回答者数/対象科目履修者数)

所見提出率 : 59.5%

● 集計結果の公開について

科目毎の授業評価をクロス集計した結果を、本学ホームページで公開しています。
(学内からのアクセスのみ可能)

アンケート結果公開HP URL: <http://www.andrew.ac.jp/info/fd/questionnaire.html>

2003年度以降は毎年度、春学期、秋学期の学期ごとに実施することとし、その結果を「学生による授業評価報告」としてホームページ上に掲載するとともに、冊子体にまとめ、図書館等に備え学生の自由な閲覧に供しています。

2017年度春学期開催 全学FD研修会報告

テーマ：「海外体験学習の実践と学生の成長」

日時：7月5日（水）15:00～16:00

講師：①共通教育機構 金子 あき子講師

登り山 和希 講師

②国際教養学部 村下 稔樹さん（BSP参加学生）

全学FD研修会は、本学の教育活動における質的向上とさらなる発展を目指し、学内での教育活動実践に伴う諸問題等について考え改善する機会として年に数回開催しています。

今年度1回目の研修会は、海外体験学習をテーマに実施しました。

本学では、体験型や語学など目的やレベルに合わせたプログラムが用意されています。今回はBSP(Beginning Step Program)に注目し、BSP参加学生の「次の学び」につなげる取組や課題について考察しました。参加学生を追跡した結果、海外体験学習の経験をふまえ、ゼミ・講義を選択したり、新たな体験学習へ参加していることがわかり、それらとの結びつきを強化する取組みが重要であると報告されました。

研修会では、BSPに参加しメンターとして活動する学生の発表もありました。プログラム参加によって学習の目的意識が変化したこと、興味や問題意識を深め成長を感じていることを報告し、研修会参加者から大変好評でした。



参加者の感想

- ・学生の方が非常にしっかりした発表をされていたのが印象的でした。興味深い研修でした。
- ・「百聞は一見にしかず」が良く伝わりました。他の国や地域に拡げることができれば良いですね。（国内でも可能ですね）
- ・質問タイムにもあった通り、学部3～4回生での学びとどう接続するのか、各学部の学びへのつながり/成長が重要と思った。

2018年度開講(予定)「共通自由特別講義-リーダーシップ入門」紹介

2018年度秋学期に開講予定の新しい科目「共通自由特別講義-リーダーシップ入門」を紹介いたします。

この授業は、「総論」「思考編」「チーム編」「リーダーシップ編」で構成される実践的な授業で、学生の3つの力を伸ばすことを目的としています。

1つ目の思考を高める力(批判的思考)とは、ものごとの前提から疑い、検討する力のことです。この力を身につけることにより、身近な物事であっても、問題点に気づかずに見逃したままになっていたり、さまざまな解決方法を検討することなく、実行してしまっていたりする可能性があることを学びます。

2つ目のチームワークを育成する力(チームビルディング)とは、チームで活動して一定の成果を目指す組織力のことです。例えばスポーツ競技において、優秀な選手をそろえただけでは成果につながらないことがあります。それぞれが能力を発揮し、チームとして成果をあげる方法を学びます。

3つ目の身近な問題に挑戦する力(リーダーシップ)とは、問題を発見し主体的に物事に関わる力のことです。例えば消費者として不満や苦情をいうのではなく、それを提案に変える力を養うことがあげられます。この際、リーダーシップだけではなく、メンバーそれぞれがもっているべきフォローシップも学ぶことで、この2つがそろって初めてリーダーシップが機能することを学びます。

科目担当(予定):経営学部 中村 恒彦先生コメント

このような3つの力を身につけることで、大学生生活を充実させ、自己と他者を深く理解しながら自らがどう生きていけばよいかを考えていただけるきっかけになれば幸いです。

2017年度 全学FD推進委員会 構成メンバー紹介

【委員長】井田憲計(副学長)

【委員】梅田百合香(経済学部)、松澤俊二(社会学部)、中村恒彦(経営学部)、片平幸(国際教養学部)、早川のぞみ(法学部)、田中志津子(共通教育機構選出、法学部)、竹島亮輔(教務課長)、叶屋真一(教育支援課長)

【事務局】延康之(学長室課長)、竹川佳佑(学長室)、平井沙恵(学長室)

発行日 2017年10月31日

発行 桃山学院大学 全学FD推進委員会 事務局

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

電話: 0725(54)3131

FAX: 0725(54)3203

電子メール: zfd-momo@andrew.ac.jp